

令和6年度 第1回麒麟のまち創生戦略会議 議事概要

日時：令和6年5月7日（火）午前11時15分～12時00分

場所：大江ノ郷自然牧場 大江ノ郷ビレッジ 2階 （八頭町）

出席者：鳥取市長、鳥取市副市長、岩美町長、若桜町長、智頭町長、八頭町長、香美町長、
新温泉町長

1 開 会 八頭町長あいさつ

2 議 題

（1）日本遺産「麒麟のまち推進協議会」の取組状況について・・・・・・・・・・ **資料1**

＜岩美町長＞

現在のインバウンドの傾向として、麒麟獅子舞の体験に対し外国人にどのくらい関心度があり、体験型プログラムとして集客が見込めるものでしょうか。また、関西万博で来られるインバウンドの方へ、麒麟のまち圏域の日本遺産だけではなく周辺の日本遺産と併せて「日本遺産ツアー」として売り出していくようなことは考えておられないでしょうか。

＜事務局＞

インバウンドの傾向に関してですが、4月に「ル・ソレアル号」の入港がございまして、その際にインバウンドの乗船者の方を麒麟獅子舞でお出迎えをさせていただきました。頭を噛むといったことに珍しさを感じて楽しみにされている方もおられましたので、この珍しさを活かして今後も麒麟獅子舞の体験プログラムを考えていきたいと思っております。

2点目の関西万博を広くくりに広域のインバウンド戦略として、日本遺産を活用した誘客というお話だったと思います。ご指摘の通りでございまして、大阪もですが、特に兵庫県あたりは、日本遺産の認定件数も非常に多い地域でございます。そういった地域と大阪とを繋いでいく「日本遺産」というキーワードの中で、特にツアー誘客に関して言いますと、麒麟のまち観光局単体というよりは、例えば、関西にあります関西観光本部という広域のDMOと接点を密にしながら誘客につなげていくという必要があろうかと思っております。

そういう意味では、麒麟のまち観光局も関西観光本部との繋がりを持っておられますので、ぜひ日本遺産をひとつのテーマにした誘客やツアー戦略というものを関西観光本部などに営業していただくような仕掛けをこちらの方としてもお願いをしていきたいと思っております。貴重なご意見として承らせていただきまして、DMOに伝えたいと思っております。

（2）（一社）麒麟のまち観光局の取組状況について・・・・・・・・・・ **資料2**

＜若桜町長＞

若桜町においても、氷ノ山の登山やトレッキングなどのガイドがありますが、ガイドの育成・確保が難しく、絶対数の不足を課題として感じています。麒麟のまち観光局では、どの

くらいのガイドがおられ、どのようにして人材を確保しているのでしょうか。また、市町単体でのガイドだけでは限界があり、麒麟のまち圏域内で補完し合えるガイドの育成などは考えておられないでしょうか。

《事務局》

まず、DMOとして抱えているガイドの実態については、おそらくですが、広域全体として把握はされていてもマネジメントまではしていないと思われます。ただ、米子に山陰両県でつくっている山陰インバウンド機構という広域のDMOがありまして、そちらのホームページには、鳥取県東部周辺に英語で通訳ができるガイドが12名ぐらいおられます。今年度予定をしておりますローカル鉄道事業の「英語ガイドの養成」では、例えば、地元の八頭町のガイドさんが講師となり、このインバウンド機構に登録しておられる多言語を話すことのできるガイドさんに受講していただくような形で、ローカル鉄道沿線にて英語でガイドできるようなことにチャレンジしてみたいといったことを考えておられるようです。このような多言語のガイドの方々をこの圏域で補完し合えるガイドの人材として配置していただけるような仕組みを作っていくなど、ガイドのすそ野が広がるような環境づくりができればと思います。今日いただいた意見を持ち帰り、DMOに伝えさせていただけたらと思います。

《新温泉町長》

令和5年度において、鳥取県東部に訪れた外国人数とその交通手段は何を利用しているのでしょうか。併せて令和6年度の目標もお聞かせください。

《事務局》

正直なところ、実数の数字を持ち得ておりません。令和5年度の実績として、私が覚えている限りで言いますと、それまでがコロナ禍だったということもあって、特に外国人の宿泊者数は前年度から大きく伸びております。実数は改めてまた報告させていただきたいと思います。鳥取市においての傾向になりますが、やはり一番多いのが台湾、香港、それに次いで多いのが中国と韓国、そのあとに欧米が来るような流れになっております。昨年特に感じたのは、東アジアを中心としていた傾向に欧米のお客さんが増えてきたなというような数字が傾向としては見て取れたかなと思っております。

もう1つ交通手段の話としては、私どもの方としても関西空港から大阪のO C A Tというバスターミナルに来ていただいたお客様に片道1,000円の高速バス運行というのをしております。そういったニーズとあわせて、鳥取駅に着いてから1市6町を圏域で周遊するタクシーを外国人向けに運行しておりますが、年間で3,000件近く数字として上がっております。ですので、やはり公共交通を基本的には主としておられるのかなと思います。

ただ、一方では鳥取駅に着いてからの交通手段としては先ほど申し上げましたタクシーもあれば、レンタカーというような需要もあるというようなことを伺っているような状況です。

実績の数字については、例えば、鳥取市にお泊まりになられた宿泊の数というものでよろ

しければ多分把握ができているものがあると思いますので、改めて参考に提示させていただければと思います。

《新温泉町長》

外国の方が鳥取へ訪れる交通手段としては、バスとＪＲのどちらが多いでしょうか。

《事務局》

総じて両方とも多いというところなのですが、比較まではしていないという現状です。公共交通を利用してという意味で、バスや鉄道というのが多いのは事実だと思います。

ただ、基本的に関西空港に到着してからの選択が、バスを選ばれたり、レンタカーを選ばれたり、鉄道を選ばれたりという傾向を詳細に分析できていないところがございます。お客様が関西空港から目的地が鳥取市ということであれば把握ができる部分もあるのですが、例えばダイレクトに城崎に行き、その後鳥取を訪れるというケースもありますので、実態を掴みにくいところがあるというのが正直なところです。

《新温泉町長》

城崎を訪れる方は、圧倒的にＪＲを利用されている方が多いです。城崎駅は自動改札となっており、鳥取駅も来年度自動改札となると聞いております。山陰地方は、観光で頑張っている事業所が多いと思っております。ぜひとも、自動改札導入を麒麟のまちの連携のひとつとしてお願いしたいと思います。

(3) 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）について・・・・・・・・・・資料3
(質疑・意見等なし)

(4) 若者定住促進事業（麒麟のまち婚活サポートセンター運営事業）について資料4
(質疑・意見等なし)

3 その他 なし

4 閉 会 鳥取市長あいさつ